

今井 努

【経歴】

- 2003年4月～ 橋梁メーカーへ就職（橋梁設計職他）
- 2013年4月～ 周南市役所入庁 主に橋梁維持管理に従事
- 2021年4月～ 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所出向
- 2023年4月～ 周南市役所 建設部河川港湾課（企画部企画課 兼務）

現在に至る

【活動概要】

2015年8月4日（橋の日）に産・官・学・民 有志による協働のインフラメンテナンス活動をスタートさせた。

立場の枠を越え、強制感なく自由気ままに「楽しみながら」活動することをモットーに、インフラの重要性やメンテナンスの必要性を猫の手レベルで啓発している。

【土木学会の活動】

- 土木学会 インフラメンテナンス総合委員会
- 知の体系化小委員会 教材開発支援分科会 委員(2020～2023)
- アクティビティ部会 委員(2021～)
- 地方インフラ・メンテナンスネットワーク 委員(2021～)

【賞歴】

- ・第1回インフラメンテナンス大賞 『国土交通大臣賞』
- ・土木広報大賞2021 『優秀部門賞』（企画部門）



今井 努

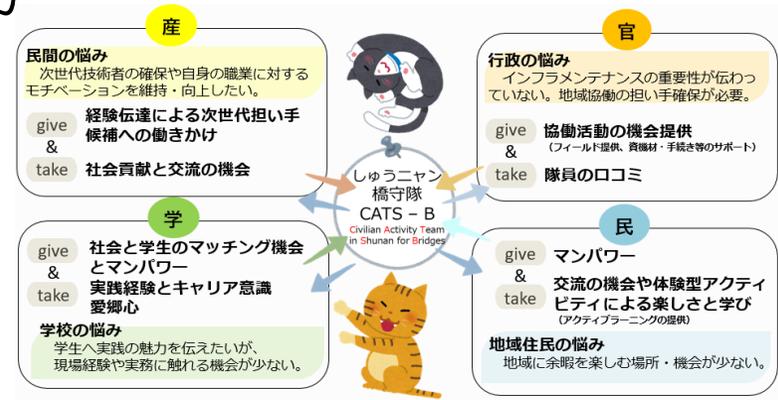
第1回インフラメンテナンス大賞 『国土交通大臣賞』 / 国土交通省ほか



【講評】

気軽にメリットのある活動としての動機付けによって自治体・建設業・学校・住民等が隊員となり、清掃や簡易な橋梁点検等の橋守活動を行う取組について、隊員が増加し続けている点等の高い継続性・発展性や、施設を地域の中の資産としての認識の醸成にも貢献する点、人材や予算面で課題のある市町村等への展開が期待できる高い先導性を評価

協働活動の実践



土木広報大賞2021 『優秀部門賞』 (企画部門) / 土木学会



【講評】

100年の歴史を持つ橋に焦点を当てた非常に興味深い企画です。産官学民が一体となって作り上げた企画で、日本の橋梁技術の高さを知ってもらえる良い機会になったと思います。また、現代はインフラが当たり前前の存在になっていますが、今回の企画を通じてインフラを健康な状態で維持していくことの重要性が利用者（市民）にもよく伝わったと思います。今後も同様の取組みが増えていくことで、インフラを整備、管理する者と利用者との間に一体感が生まれ、インフラ整備やメンテナンスに対する市民の理解もいっそう深まると思います。

ハンドメイド広報

